

# 登別温泉 滝本イン

Takimoto Inn  
(北海道登別市)



2007年5月、当愛好会で第一滝本館という巨大な風呂を取材し、その記録は既にアップしている。今回紹介する風呂は、その第一滝本館の姉妹宿泊施設である滝本インの風呂だ。

滝本インはビジネスホテル風の温泉ホテルだ。その宿泊客は、無料で第一滝本館の風呂の利用が可能。このため、滝本インの風呂を利用する人は少ない。案の定、取材時は貸し切り状態だった。この風呂を利用するのは、

①第一滝本館のような大きな風呂で歩きまわるのは疲れるからイヤ、②第一滝本館まで行くのが面倒くさい出不精、③第一滝本館で入浴後に、滝本インに戻ってくる間に湯冷めしたくない、などの客が主体になるであろう。

滝本インの風呂は1階にある。しかし、フロントが3階にあるので、1階は地下2階のような雰囲気である。脱衣室には籠のない棚が25個、無料で利用できるカギ付ロッカーが6個、洗面台が2個あり、洗面台には、アフターシェーブローション、ヘアリキッド、ヘアトニック、洗顔フォーム、櫛、髭剃り、麵棒、アブラシ、ドライヤーなどのアメニティーが完備されている。残念ながらシェービングフォームはない。そう言えば、フロントでも髭剃りはもらえるが、シェービングフォームはもらえない。代わりにボディークリームを使うしかないようである。

浴室は極めてシンプルだ。大浴槽と洗い場があるだけである。洗い場は4か所。シャンプーとコンディショナー、ボディークリームは2種類が完備。片方はあの高級品である馬油だ。これをたっぷり使わない手はない。

浴槽（湯温はやや熱め、定員15人程度）の湯は少し白濁しており、わずかに硫黄のにおいがする。口に含んでみると、かんきつのような味が一瞬広がり、その後は変な味に変化した。不思議な湯である。尚、飲用はできないので注意が必要だ。

ところで、この風呂は24時間入浴が可能になっている。一体いつ風呂掃除をするのだろうかという疑問がわく。ひょっとしたら、温泉の成分が強すぎてバイ菌がわからないから、掃除をする必要がないのだろうか。

ちなみに滝本インの湯は、酸性—含硫黄—アルミニウム—硫酸塩・塩化物温泉（硫化水素型）（酸性低張性高温泉、酸性硫化水素泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、慢性婦人病、虚弱児童、動脈硬化症、糖尿病、高血圧症に効くという。

入浴後は、温泉街の炉端焼き屋「いせくら」へ。北海道には炉端焼き屋が多いが、ここもその一つ。

エビ、ホッケ、カレイ、サバ、ホタテ、ラム肉、玉ねぎ、アスパラガスなどを豪快に焼き、むさぼり食う。

炉端焼き屋に入る時、店から出てきたのは黒人のグループ。何やらとても満足そうな顔をしている。登別にもインバウンドの波は押し寄せて来ており、見たところ温泉街の客の半数以上は外国人である。彼らは、こんなところまでやって来て、日本の文化を楽しんでいる。日本が観光しやすいことの証なのだろうか。日本の温泉は今や世界の温泉である。

DATA

名称	登別温泉 滝本イン
所在地	北海道登別市登別温泉 76
電話	0143-84-2205
営業時間	24 時間入浴可
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2018 年 12 月某日
取材	銭湯愛好会東京支部